

ヒートアイランド対策推進工業会 設立

初代会長 温暖化防止に貢献



平田登基男初代会長

豊富な経験を持つ地元企業の代表、お互いの技術を持ち寄り、バリアフリー対策やヒートアイランド現象の抑制に貢献することを目的に設立された。

総会では、議長に発起人代表の松下正行氏(松下建設)を選出、運営規約(案)や事業計画及び収支予算(案)などを審議、すべて原案通り可決承認したほか、初代会長に平田氏を選任した。平田会長は「微力ながら会の発展に精一杯力を尽くしていきたい」と就任の挨拶を述べた。

ヒートアイランド対策推進工業会の設立総会並びに記念式典が13日、鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で開かれ、会員及び企業団体等の技術を通じて、ヒートアイランド現象の抑制と地球温暖化防止に貢献していくことを基本方針とする事業計画を決定するとともに、初代会長に平田登基男氏(鹿児島工業高等専門学校校土木工学科教授・学科長、工学博士)を選任した。



事業計画等が決められた設立総会。鹿児島市のホテルレクストンで開かれた。

出水造園建設業協会

国道等で植栽剪定奉仕

出水造園建設業協会は、毎年1回、年末に造園技術を生かして国道や県道の植栽の剪定作業をボランティアで実施。10日、国道447号出水市大川内田原地区と同47号不動野の緑地帯、県道葛輪瀬戸線の東町川床小学校前の街路、県出



水合同庁舎前の4カ所で作業を行った。合同庁舎前を担当した

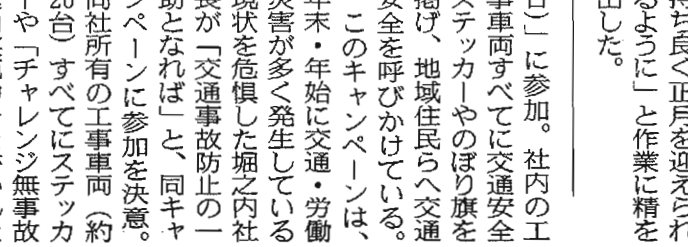
大笠建盛会清掃ボランティア

地域住民へ感謝込め



大笠建盛会(森千秋会長)は10日、南さつま市の養護老人ホーム「はまゆう」の清掃作業を実施した。これは地域住民らへ日頃の事業推進の理解と感謝の気持ちを込めた社会貢献活動の一環で、会員ら約80人が奉仕作業に参加した。

防犯訓練や清掃作業



大島郡瀬戸内町の地蔵トンネルで13日、県大島支庁瀬戸内事務所による交通安全事故を想定した防犯訓練があり、瀬戸内建設業協会や警察署、消防署などの協力で事故発生から救助活動までの本格的な訓練を実施した。訓練後は瀬戸内建設業協会が同トンネル内のボランティア清掃作業を行った。

交通安全防止に参加

のぼり旗でアピール

徳永組(堀之内強社長)はこのほど、ウィナーズ保険サービス、(有)元総合保険事務所らが主催(後援・日本興亜損害、損保ジャパン、東京海上日動火災、共栄火災海上)の「17年度年末・年始交通安全防止キャンペーン」(12月1日～18年1月31日)に参加。社内工事車両すべてに交通安全ステッカーやのぼり旗を掲げ、地域住民らへ交通安全を呼びかけている。

このキャンペーンは、年末・年始に交通・労働災害が多く発生している現状を危惧した堀之内社長が「交通安全防止の一助となれば」と、同キャンペーンに参加を決意。同社所有の工事車両(約20台)すべてにステッカーや「チャレンジャー無事故運動実施中」と書かれたのぼり旗を掲げ、期間中の交通安全を呼びかけている。

設計・施工技術講習会

最新の情報を習得

技術講習会が13日、鹿児島市のホテルウェルビユーかごしまで開かれ、行政関係者ら建築関連業者から約50人が参加、次世代省エネ基準の概要などについて知識を新たにしました。



講習会の冒頭、県土木部住宅課計画融資係の坂野伸一郎技術主幹兼係長が「今日の講習で最新の情報を習得し、今後の業務に生かしていただきたい」と挨拶。続いて

同機構住宅研究部の大橋宏課長が18年4月に改正が予定されている次世代省エネ基準の改正ポイントなどについて解説。このほか、佐藤建築設計室の佐藤里志代表、(株)エムエスホームズの鈴木浩司社長が「省エネ基準の概要と基準に適合した住宅の建て方」と題して講義。受講者は、今後の業務に生かそうとメモを取るなど熱心に聴講した。



「メモを取るなど熱心に聴講する受講者」。鹿児島市のホテルウェルビユーで開かれた。

社会前に掲げられたキャンペーンののぼり旗。瀬戸内町の同社